

決算認定 一般会計

173億 7,920万円

平成 24 年第3回定例会

9月11日から21日までの会期で開催され、平成23年度決算を中心に、多岐にわたり審議が行われました。

ここでは、主な質疑についてご紹介します。

伝承館の使用料金

問 正式に決まっていないようだが、何がネックになっているのか。

答 伝承館設置管理条例と公民館設置管理条例の2本立てになっていますので、年度内に修正を行い、新年度から新しい条例で施行していきたいと思っています。



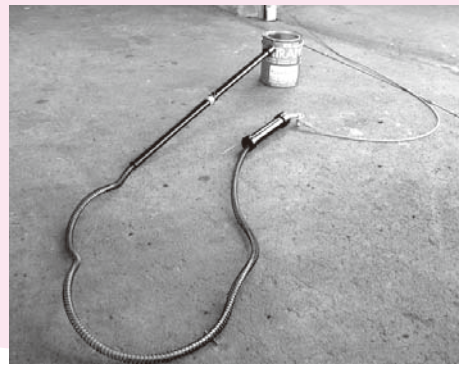
猟友会への補助金

問 猟友会の補助金に関連した質問だが、猟友会以外の方でもわなの設置資格を取れるようにお願いしたいが。

答 猟友会は高齢化が進み、メンバーは50人を切っています。今年度では、9月17日までに有害鳥獣捕獲が2回行われ、94頭捕獲しています。23年度は免許取得者に2件の補助金を交付していますが、わな猟の免許取得者は少ないのが現状ですので、猟友会以外の方のわな猟の取得について、啓発していきたいと考えています。



はこわな



くくりわな

高齢者クラブの補助金

問 市単位高齢者クラブ補助金と高齢者クラブ連合会補助金の中身は。

答 市単位高齢者クラブへの補助金については、健全なクラブ運営を行うことを目的として、現在市内にある77団体に対して、団体割が3万円、会員割が1人当たり450円で、団体割+会員割の合計数で補助を出しています。高齢者クラブ連合会補助金は、真壁・岩瀬・大和の3支部の連合に対する、各種ゲートボール大会や輪投げ大会に対しての補助金で、180万円ほど支出しています。

各種大会用中学校バスの借り上げ料

問 岩瀬東中は208万円、桜川中101万円、大和中202万円だが、生徒数とは関係なく、どういう理由で違いが出るのか。

答 学校の部活動の数、部員数を勘案し、市内の大会、県西地区大会はすべて公費で賄っています。決算額に差が出たのは、県大会出場などによるものと考えられます。

平成23年度決算額は… (万円未満切り捨て)

一般会計

歳入 191億 8,967万円
歳出 173億 7,920万円

特別会計

国民健康保険	歳入 60億 2,706万円	歳出 56億 514万円
農業集落排水事業	歳入 5億 2,426万円	歳出 4億 9,793万円
公共下水道事業	歳入 7億 8,685万円	歳出 7億 8,014万円
介護保険	歳入 34億 539万円	歳出 33億 1,635万円
介護サービス事業	歳入 1,000万円	歳出 778万円
後期高齢者医療	歳入 3億 2,347万円	歳出 3億 2,319万円

水道事業会計

収益的収入	9億 3,231万円	収益的支出	10億 2,125万円
資本的収入	1億 9,730万円	資本的支出	4億 3,593万円

直売所「さくら」の収支

問 桜川北部ふるさと協議会「大泉直売所」について。市単独の補助金200万円の使い道は。

答 駐車場の舗装工事が109万円、屋根と天井の修繕と加工施設の築造工事が77万円、電気、ガス配管工事、水道、排水工事が15万円で、合計201万円です。

問 市と県の補助金で、今までに幾ら投資したのか。

答 平成21年度から23年度までに、市から1,200万円、県から160万円、合計1,360万円の補助金が支払われています。

問 平成23年度の売り上げと利益はどれくらいか。また、その利益はどこに入るのか。

答 直売所「さくら」の収支状況は、収入が1,240万3,097円、支出が1,228万8,875円で、差し引き13万4,222円の利益と報告されています。その利益は、桜川北部ふるさとづくり協議会に入ります。

問 舗装工事や修繕、築造工事は、利益を出してから自分たちで行うのが正しいのでは。

答 地域の農業振興のモデルとして頑張っていただけなのであれば、補助金を出すこともやぶさかではないと思いますが、もう少し利益が出るような仕組みを行政側からも指導していく必要があるかと思っています。



予算は適切に執行されたか